

# 地域公共交通の確保等に関する実態調査の結果(概要)

公表日: 令和4年1月25日

## 調査の背景

- ◇ 地域公共交通は、**人口減少や自家用自動車の普及に伴う輸送人員の減少、事業者の収益の悪化**などを背景として、その確保・維持が困難な状況であり、市町村の役割が拡大
- ◇ 行政がこのような**社会変化を踏まえて対応するために参考となる取組を調査**

【調査対象機関】国土交通省、都道府県(21)、市町村(69) 【実施時期】令和元年12月～4年1月

※ 人口規模が小さく、過疎化・高齢化が進行し、厳しい財政状況にある市町村を対象

## 主な調査結果

- ◆ 調査の結果、市町村の中には、住民アンケートや協議会などを活用し、住民ニーズと関係者意見のバランスを考慮して、継続的に住民等の利便性の向上を図っており、地勢や過去の経緯を踏まえ、地域公共交通の確保等に積極的に取り組んでいる事例がみられた。
- ◆ このような取組は、今後の地域公共交通を検討する上で参考となるものであることから、今ある地域公共交通のサービスの見直しや新たな地域公共交通サービスの導入などに分類整理し、そこに至る経緯を含めた取組内容を事例集として取りまとめた。

※ 事例集の内容は、令和2年11月に改正された地域公共交通の活性化及び再生に関する法律で進めることとされている取組を検討する上でも参考となるもの。改正法では、地域公共交通のネットワークの形成といった従来の取組に加え、地域の多様な輸送資源の総動員による移動手段の確保や、利用者目線による既存サービスの改善等を推進することとされた。

### (1) 今ある地域公共交通のサービスの見直し

例) 市営コミュニティバスについて、導入後約3年間の運行データの整理・分析等を行い、利用者のニーズに応じた運行ルートへの改善や経費削減のための車両の小型化等の再編を実施

### (2) 地域にあるその他の移動手段の活用

例) 誰でも利用できる乗合バス及びデマンドタクシーを導入する際に、通院目的限定の無料患者輸送バスを転換することで地域に定着していた既存の路線やダイヤを活用

### (3) 新たな地域公共交通サービスの導入

例) 定時定路線の町営バスが利用者減少により廃止されたことに伴い、NPO法人が行政からの支援を受けながらデマンド型の自家用有償旅客運送を新たに導入

### (4) 乗合環境や待合環境の見直し

例) コミュニティバスの運行について、複数回のアンケート調査や障害者団体等の多様な構成員による協議により、幅広くニーズを把握。このニーズに対応し、車両のノンステップバスへの変更により、障害者等の乗降環境を向上

### (5) 利用促進策

例) 市では、3市共同の地域公共交通網形成計画の方針を踏まえ、地域住民だけでなく島外観光客の利用者増を図るため、近隣市の港へのバスの延伸・増便を図ることで利用促進を実現

## 本調査結果に期待する効果

調査結果を基に、市町村ごとの事例を整理し、経緯等を含めた取組の実態を示すことで、

- ・ 国土交通省において、地域公共交通の在り方の検討の参考とし、
- ・ 市町村における地域公共交通の確保・維持の取組の検討の一助となることを期待

# 地域公共交通の確保等に関する実態調査の結果(概要)

## ポイント



### (1) 今ある地域公共交通のサービスの見直し

市町村名	取組概要
山形県朝日町	町では、既存の民間路線バスの経営を圧迫しないように時間帯や利用対象者の限定といった条件を設けつつ、事業者と住民の双方の納得を得て、住民からの要望が多かったデマンドタクシーの対象区域拡大を実施
奈良県宇陀市	利用客減少に伴うバスの小型化により、狭い道路の走行が可能となり、路線設定の選択肢が増加することで地域の実態やニーズに対応しやすくなるとともに、燃料費等の経費を削減
愛媛県伊予市	市営の定時定路線型コミュニティバスについて、導入後約3年間の運行データの整理・分析、課題の洗い出しを行い、利用者の利便性向上や経費削減のため、運行日や運行ルートを再編
福岡県嘉麻市	合併前の旧市町で区々となっていたバス路線を、市内地域間や隣接する市町との間の交通を担う幹線と地域内で交通を担う枝線に再編し、枝線は利用が集中する時間帯のみ定時定路線運行とし、それ以外はデマンド運行とすることで、住民ニーズに合った運行体系に見直し
鹿児島県日置市	従前にデマンドタクシーを導入した市内の他地域における財政負担の削減効果を、地域公共交通会議において比較検証することにより、更なるデマンドタクシーの導入を円滑に進めることで、運行体系を見直し



### (2) 地域にあるその他の移動手段の活用

市町村名	取組概要
岩手県岩手町	買物のための外出など誰でも利用できる乗合バス及びデマンドタクシーを導入するに当たって、通院目的に限定した無料患者輸送バスを転換することで地域に定着していた既存の路線やダイヤを活用 導入後も毎年利用者への調査等を行い、運行路線を見直す等改善を継続
鹿児島県いちき串木野市	市では、地域が主体となって既存の路線バス等を補完するために、庁用自動車を「コミュニティ自動車」として地域に貸し出す仕組みを構築

# 地域公共交通の確保等に関する実態調査の結果(概要)

## (3) 新たな地域公共交通サービスの導入

市町村名	取組概要
茨城県利根町	新たな交通手段の導入に当たって、民間バス路線の廃止に伴う交通空白地の解消だけでなく、町内全域での公共交通の整備を望む住民意見も踏まえて検討した結果、町内全域を運行するデマンドタクシーを導入。その後も、運行時間の変更など利便性向上のための見直しを実施
新潟県魚沼市	交通空白地解消のため、デマンドタクシーを導入したが、高齢化地域では利用者が減少 住民から年会費制や主体的な経路設定等が可能な使い勝手の良い交通手段の導入の要望を受け、市民参画で実施する定時定路線型の自家用有償旅客運送を新たに導入
島根県江津市	交通空白地解消のため、高齢化が進む地域について玄関まで送迎可能なタクシーという身近な交通手段であり、かつ安価な価格での利用を実現する「相乗りタクシー」を新たに導入
島根県邑南町	町では、定時定路線の町営バスを利用者減少により廃止。NPO法人が行政から補助金等の支援を受けながらデマンド型の自家用有償旅客運送を新たに導入
徳島県美馬市	① 移動手段がなくなることにより危機感を持った住民がNPO法人を設立し、高齢者生活支援事業、農林業作業支援事業といった有償を含む他の事業も行うことで、行政の財政支援を受けず自家用有償旅客運送を新たに導入 ② 民間路線バスの廃止を契機に、デマンドタクシーを新たに導入 毎年度の利用者へのアンケートやヒアリングを踏まえて、便数・運行日を増加するなどの見直しにより利用者の増加を実現



## (4) 乗降環境や待合環境の見直し

市町村名	取組概要
北海道岩内町	コミュニティバスの運行について、複数回にわたるアンケート調査や障害者団体等を含む多様な構成員による協議により、幅広くニーズを把握。ニーズに対応し、車両をノンステップバスに変更することにより、障害者等の乗降環境を向上



## (5) 利用促進策

市町村名	取組概要
兵庫県洲本市	市では、3市共同で策定した地域公共交通網形成計画の方針を踏まえ、地域住民だけでなく島外観光客の利用者増を図るため、近隣市と調整を行い、近隣市の港へのバスの延伸・増便を図ることで利用促進を実現

